

苅田モノづくり LABO ボランティアとモノづくりの楽しさ学ぶ

8月6日、中央公民館で「苅田モノづくり LABO イルミネーション作り」が開催されました。苅田工業高校、西日本工業大学、京都高校の学生ボランティアが集まり、子どもたちにイルミネーションの作り方やモノづくりの楽しさを伝えました。参加者は「みんなで協力して作って最後ピカッと光ったときは嬉しかった」と話しました。完成したイルミネーションは、11月29日の苅田駅イルミネーション点灯に合わせて同館で点灯予定です。



空手全国大会で好成績残す 与原小の児童たちが大活躍

与原小学校5年の今戸新さん（写真左）、松崎登例さんが8月8日副町長に空手全国大会の成績を報告しました。今戸さんは全日本ジュニア空手道選手権大会で準優勝、松崎さんはグランドチャンピオン決定戦大会ベスト8と優秀な成績を収めました。今戸さんは「次の大会で優勝するために練習を頑張ります」、松崎さんは「仲間と一緒に練習して自分に厳しく頑張りたい」と今後の抱負を語りました。



夏休みに小学生が参加 殿川で生き物調査を開催

8月21日に役場横の殿川で生き物調査が行われました。この調査には、小学生を含む21名が参加。子どもたちは夢中になって生き物を探し、ヒラタカゲロウ、ナガレトビケラなど10種類の生き物が見つかり、殿川の水は「きれいな水」とあるという結果になりました。このような豊かな自然が残る環境が身近にあり、様々な水生生物がいることが分かり、参加者のみなさんはとても驚いていました。



お医者さんたちがからだの相談に答える ちょっと健康になるお話を開催

8月18日、中央公民館にて「町のお医者さんのちょっと健康になるお話し」が開催されました。行橋クリニックの松本院長が、「自分の腎臓を守る」について講演し、おしゃべりタイムでは、参加者から出た専門分野ごとの質問に、町内外医療機関の8名の先生が答えました。会場では、笑いが出る場面もあり、参加者は「健康についてのためになるお話を楽しく聞くことができました」と楽しそうに話していました。



まちの話題 KANDA TOWN TOPICS

5年ぶりに土曜夜市復活！ 苅田町商店街に熱気があふれる

8月24日、苅田町商業協同組合・(株)ピュアタウン苅田が主催し、苅田まちづくり観光協会の共催で、「苅田町商店街土曜夜市」が開催されました。会場には老若男女問わずたくさんの人が訪れ、屋台のフードやドリンク、射的・型抜きなどのアトラクション、子ども山笠の展示を楽しんでいました。ステージイベントではダンス発表・じゃんけん大会・ビンゴ大会などが行われ、大いに盛り上がりしました。



ギラヴァンツ×にじいろ×苅田町 飢餓をゼロに！SDGsブースを出展

「ギラヴァンツサマーフェスティバル 2024」が、8月17日にミクニワールドスタジアム北九州で開催され、子育て支援隊ににじいろと町が『飢餓をなくそう』をテーマにSDGsブースを出展しました。フードロスの野菜を使用した焼き肉のたれや、国指定史跡石塚山古墳の伐採樹木を活用したコースターを販売し、多くの来場者に苅田町の魅力を知っていただきました。売上金は、子ども支援事業の活動資金として活用されます。



お家にあるもので簡単調理！ 小学生対象の料理教室を開催

苅田町食生活改善推進会が毎年企画している「夏休み子ども料理体験教室」が、町内の小学5・6年生を対象に毎月19日の食育の日にちなみ8月19日に中央公民館で開催されました。献立に含まれる栄養の話と調理方法などの説明後、お家にあるラップを使って、海苔巻きなどを調理しました。参加した小学生は「とても楽しく料理ができたので、お家でも作りたい」と話していました。



たくさん英語を話そう！ イングリッシュ・デイキャンプ in 苅田

小学生がALT（外国語指導助手）と英語でコミュニケーションを取りながら1日を過ごす「イングリッシュ・デイキャンプ in 苅田 2024」が8月22日に三原文化会館で開催されました。町内の小学4～6年生24名が参加し、ALTへのインタビューや様々な国の遊びを通して英語を学びました。参加した児童は「最初は緊張や不安で話すことができなかったけど、楽しく英語を学ぶことができました」と話していました。

